授業科目	＊専門演習Ⅱ（神崎）					単位	1
履　　修	必修	関連資格				ナンバリング	TO32105J
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-4 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP5-1 DP5-2		
担当教員	神崎　明坤						
授業概要	大学における学びの集大成としての卒業論文作成を大きな目標とし、そこに至るまでに必要と考えられるスキル（研究目的と研究方法、先行論文の講読、議論、調査、分析、卒業論文執筆の際の注意点など）を身につける。 各担当者の授業の詳細については、ゼミ募集時に配布されたゼミ案内に記載された内容を参照のこと。						
学生が達成すべき行動目標	「専門演習Ⅰ」での学習を発展させ、学生各自が問題意識や研究テーマをできるだけ明確にしながら、その内容についての発表・討論をすることができる。さらに 4 年次の「卒業研究」を念頭に置きながら研究計画を立案できる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	25	25	0	100	
知識・理解（DP1-1）			5	5	5		15	
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）			10	10	5		25	
思考・判断（DP2-1）			10	5	5		20	
思考・判断（DP2-2）			5				5	
関心・意欲（DP3-1）			5		5		10	
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）			5	5			10	
技能・表現（DP5-2）			10		5		15	
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
論文作成の基本マナーを体得しており、4 年次の「卒業研究」にスムーズに進むことができる。	論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく口頭および論文で述べる能力を習得できている。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1～14 回のすべてのテーマ・講義内容については、第 1 回目の授業で担当者によって説明されます。			

2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	2 年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。
テキスト	担当者により、説明がされます。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1.知へのステップ 2. よくわかる卒論の書き方 3. 図書館の朝日新聞のデータベース ／ JapanKnowledge ／ ブリタニカオンラインジャパン（学内のみで閲覧可） 4.担当者により説明されます。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から新聞雑誌等を読み、テレビ・ラジオ、ネットでのニュースに関心をもっていることが大事です。知識の枠組みを広げることが基本です。
達成度評価に関するコメント	4年次には、無理なく卒業研究に取り掛かることができるように、卒業論文作成のマナーの基本を体得しているようにしましょう。